

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第18号 平成26年8月9日

政司の完投に打線が報えず・・・

フラウアウトの多さは、敗戦への道

	1	2	3	4	5	6	7	R
B	0	1	2	1	0	1	0	5
G	1	0	0	0	0	0	0	1



8/9(土) SCL予選4戦目を金井公園野球場に向向き、ブルーサンダースと行った。台風の影響で、今日のゲームが出来るかかなり心配な状況だったが、何とか、天候が持ち、プレイボールとなった。今日は光希が不慮の事故で、戦線を離れた事から、急遽政司が、マウンドに上がる。暑い中でのピッチングがどのようなものか、チームとして彼に声援を送った。その立ち上がりは、初球を投飛に斬り、一死とする。が、後続には、粘られ四球を与える。しかし、次打者二人を凡打に斬り初回を無失点とした。その裏の攻撃、先頭が倒れ一死としたが、久しぶりの林が四球を選択し出塁、その2球目にPBにて進塁を目指したが、足の影響から進塁失敗、しかし、三番哲也が四球で出塁、その後二盗でチャンスを広げる。ここで4番祐太郎の打球がショートへ、万事休すかと思っただが、野手の送球エラーの間に哲也が生還し、1点先制、さらにチャンスがあったが、深沢が倒れ、この回1点止まりとなった。翌2回には、先頭を抑え一死としたが、次打者に左柵越えを放たれ同点とされる。そして三回には、3連続長打で二点を失点、4回には、失策で残した走者を無安打で生還され、更に1点失点。そして、6回にも、二本の安打にPBが絡まり1点を失点し、球の敗戦がほぼ決定した。我がチームのチャンスは、初回と5回のみ、ましてや、安打も北島の1本のみ、と寂しい限り。今日を振り返ると、やはり打撃のフライアウトの多さであろう。

四球を選択する訳でも無い、叩こうとする意識がベンチにも伝わって来ない、気持ち良くスイングしている訳でも無い。ただ、単純に来たボールを打撃練習をするかのごとく、単に打っているだけ、これでは、出塁はおろか、得点など、遠い夢の話だろう。まー、打線は水物と表現されるが、もう少し工夫が必要だろう。積極性と雑は紙一重だから・・・そんな中、祐太郎の守備・哲也のCS、更には智のお手玉捕球は、チームを救ったプレイでしょう。